

プロトコール名	1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 DaraVMP療法 (C10以降)	28日	■なし □あり

投与日	薬品名 (※赤字は抗がん薬)
d1	① ソル・コーテフ注射用200mg+生理食塩水50mL ② 生理食塩水「ヒカリ」50ml フラッシュ用 ③ ダラザレックス点滴静注 16mg/kg +生理食塩水 * 投与1時間前までに、カロナル400mg,d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠 6mg、レナデックス20mgを内服する。問題なければ15分前まで短縮可。 0.2μmのインラインフィルターを使用する。 調製後15時間以内に投与終了。 ④ 生理食塩水「ヒカリ」50ml フラッシュ用
d1	カロナール錠200mg 400 mg d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg「武田テバ」6 mg レナデックス錠4mg 20 mg ダラザレックス投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可 * ダラザレックスの希釈・投与速度について; 生理食塩液を用いて希釈後の総量を500mLとし、100mL/時の投与速度 で点滴静注を開始。Infusion reactionが認められなかった場合には、患者 の状態を観察しながら投与速度を以下のように変更することができる。 ただし、投与速度の上限は200mL/時とする。 投与開始からの投与速度 (mL/時) 0～1時間: 100 1～2時間: 150 2～3時間: 200 3時間以降: 200
コメント	ダラザレックス投与1時間前までにレナデックス20mg+d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg+カロナール400mg内服する。問題なければ15分前まで短縮可

プロトコールに関する解説
プロトコールに関する解説はありません。